

ザンビア（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在ザンビア日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	1	2	17	1	3	40	1	5	57

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

【沿革】

2013年11月、ザンビア大学において、北海道大学アフリカルサカオフィス（*）の支援の下、一般を対象とした日本語公開講座が開設された。2019年2月、JICAからJOCVの日本語教師1名がザンビア大学に着任し、コロナ禍による中断・交代を経たものの、同大学日本語公開講座及び正課講座の講師として活動を行った。

【背景】

ザンビアにおける日本への関心は年々高まっており、特に若者の間ではマンガ、アニメがネットメディアを通じてかなり浸透している。

【特徴】

日本語教育の機会は限られており、関心がある若者も自力で学習ツールを探さざるを得ないのが現状である。
*北海道大学アフリカサカオフィスは、北海道大学によるアフリカ初の海外事務所として、2012年3月にザンビア大学キャンパス内に設立された。

最新動向

特になし。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていないが、課外活動などで日本語学習をしている者が一定数存在。

高等教育

2018年、ザンビア大学の学内評議会において学生が履修する正課科目として「日本語文法初歩」の設置が認可され、同科目が開講した。

学校教育以外

2013年11月、ザンビア大学において、北海道大学アフリカサカオフィスの支援の下、一般を対象とした日本語公開講座が開設された。同講座はコロナ禍による中断を経て2022年に再開され、2023年には延べ146名が参加するなど、好評を博している。2025年11月から2026年春までは講師不在のため一時休講。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

初等教育(Grade 1-7)、中等教育(Grade 8-12)及び高等教育(大学や専門学校及び職業訓練学校などがある)で構成されており、中等教育まで無償化されている。義務教育期間は初等教育(Grade 1-7)のみが対象であり、初等教育の就学率97.2%(2024年)に対し、中等教育は49.9%(2024年)と進学率が低いことが問題となっている。

教育行政

教育分野は国家開発のための政策の重点分野の一つとされ、2021年の政権交代後、ヒチレマ大統領率いる新政府は、それまで早期・初等・中等教育を担当する一般教育省と高等教育を担当する高等教育省の二つに分かれていた省を教育省として合併するとともに、2022年1月から中等教育を無償化し、それに伴う教員不足を補うために3万人の新規教員を採用した。

言語事情

公用語の英語に加え、7つの公式地域語（民族語）であるベンバ語、ニャンジャ語、カオンデ語、ロジ語、ルンダ語、ルバレ語、トンガ語が話され、民族語は低学年の学校教育やラジオ放送などで用いられている。民族語の中では、人口の33.4%により話されるベンバ語が最も広く話されている言語であり、これにニャンジャ語（14.7%）、トンガ語（11.4%）が続く（2010年国勢調査）。なお、ザンビアには70以上の言語があるとされている。

外国語教育

基礎教育のGrade4から、母語から英語での授業に切り替わる。

外国語の中での日本語の人気

フランス及びイタリアの文化機関（アリアンセ・フランセーズ及びイタリア文化センター）がそれぞれの語学コースを提供している。また、孔子学院がザンビア大学内に設置されているほか、中国政府はザンビア人留学生を積極的に受け入れており、中国留学を目指す学生が中国語を熱心に学習している。日本語については、日本留学生やJICA研修生OB・OGを中心に一定程度理解するザンビア人が散見されるほか、相手が日本人だとわかると片言の日本語を話しかけてくる一般人もいる。上記の日本語公開講座は、定員をはるかに上回る応募があり、日本のポップ・カルチャーイベントの参加者にも日本語学習に関心を示す者が多くいるなど、日本への関心の高さを反映して潜在的なニーズが高い可能性がある。

大学入試での日本語の扱い

初等・中等教育等で日本語教育が実施されていないため、大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていないが、課外活動などで日本語学習をしている者が一定数存在。

高等教育

ザンビア大学の日本語正課講座・公開講座において、『みんなの日本語』（スリーエーネットワーク社）が使用されている。2016年11月に国際交流基金日本語普及活動助成事業により日本語教材52冊がザンビア大学に贈呈された。

学校教育以外

日本語教育の実施は確認されていないが、課外活動として日本語学習をしている者が一定数存在。

IT・視聴覚機材

ザンビア大学の日本語公開講座では、東芝ヨハネスブルク事務所から寄贈されたタブレット型パソコン 12 台が使用されてきた。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

ザンビア大学では 2013 年 11 月の日本語公開講座開講時から、日本の大学院に留学経験のある人文科学部講師が中心になり、日本人ボランティアとともに日本語教育を行ってきた。2019 年 2 月、JICA から JOCV の日本語教師 1 名が着任し、コロナ禍による中断・交代を経たものの、上記講師とともに正課・公開講座を受け持った。2024 年末に上記講師が退職し、2025 年 10 月に上記 JOCV の教師も離任したため、正課・公開講座ともに同年 11 月から一時休講中である。2026 年春頃に JOCV の教師の着任にともない再開の予定。

学校教育以外

日本語教育の実施は確認されていない。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関は確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

2019 年 2 月、JICA から JOCV の日本語教師 1 名がザンビア大学に着任し、コロナ禍による中断・交代を経たものの、同大学の講師として活動を行った。

教師研修

教師研修の実施は確認されていない。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークは確認されていない。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

JF からの派遣は行われていない。

国際協力機構（JICA）からの派遣（2025年10月現在）

青年海外協力隊・海外協力隊

ザンビア大学人文社会学部言語学科学 1名

その他からの派遣

なし

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9.評価・試験

評価・試験の種類

共通の評価基準や試験は確認されていない。

10.日本語教育略史

2013年11月

ザンビア大学に日本語公開講座が開設

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kunikatsu@jpf.go.jp

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)